

# 「知の力」アピール

## 県立大 学生ら研究成果発表

県立大(総社市窪木)の力を地域にアピールした。の研究成果を一堂に発表する「OPUフォーラム」が29日、同大で開かれ、大学が持つ「知

科の学生、教員を中心内容に来場者に説明した。

今回初めて発表されたのが、同大が2016年度にスタートさせた副専攻「岡山創生学」の成果。学生が地域に入り、住民と一緒に課題解決を探るカリキュラム「地域協働演習」の履修生が7ブースを設けた。中でも、情報工学



地域協働演習の学習成果を発表する学生 (中央)

部3年森安優人さん(20)、保健福祉学部3年瀬良梓さん(20)らは、真庭市木山地区での里山環境を活用した

地域活性化と子どもたちの交流活動について発表。現地の山で取れた丸太や竹を組み合わせて遊具を作り「子どもたちに喜んでもらえ、地域を盛り上げるノウハウが学べた」などと解説した。

(古川和宏)